

平成28年度 ふれあい人権スポーツ教室（報告）

開催日時 平成28年11月17日（木） 午後2時45分～午後4時20分
開催場所 鳴門東児童クラブ
参加者数 総数44人
(内訳) 児童 18人、児童クラブ担当者 2人、保護者 5人、
インディゴソックス選手ほか 5人
人権擁護委員 4人、紙芝居奉仕団 2人、市 8人

<当日の様子>

① 選手、日赤徳島県支部の自己紹介



② 人権擁護委員さんから携帯電話などの正しく安全な利用についてのおはなし



③ インディゴソックス選手と紙芝居奉仕団による紙芝居「ばんどうのコスモス」



④ Mr インディ登場



⑤ 集合写真



⑥平間選手による「平間体操」



⑦仲間 (Mr インディ) を助ける鬼ごっこ



⑧選手によるキャッチボール (取りやすい胸を狙って) の見本の投げ方



⑨きちんと投げるためのボールの握り方



⑩選手とのキャッチボール



⑪チームに分かれてストライクアウト



⑫よく狙って、「当たった。」



⑬児童からの「ありがとう、仲良くします。」とお礼の挨拶。



少ない児童数の児童クラブであるが、参加した児童達はスポーツ教室を通じ、「助け合うこと」や「仲良くすること」の大切さや「選手（上位リーグへ移籍）、おめでとう。頑張ってください。今日はありがとうございました。」と感謝することの大切さを学んだ。

特にキャッチボールでは、高学年から低学年の児童へ取りやすい位置にボールを投げるという「相手を思いやる」ことの大切さを選手らから教わった。

また、人権擁護委員会の金澤会長からは「インターネットや携帯電話は、ルールやマナーを守って使用してほしい」との話があり、参加児童はそれぞれに考えながら聞いている様子であった。